

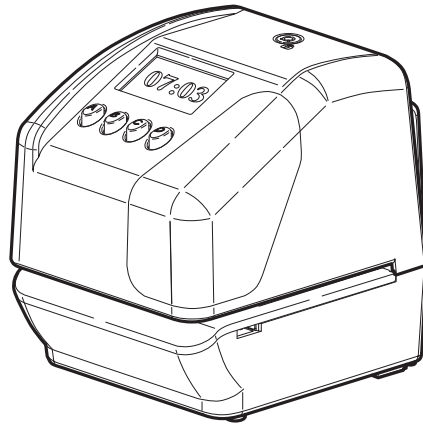
SEIKO

取扱説明書

Operation User's Manual

PCリンクタイムスタンプ

TP-50



セイコーソリューションズ株式会社

はじめに

■はじめにお読みください

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に本取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みいただいた後は、いつでもお使いいただけるように大切に保管してください。

本書の記載について

- 本書の中では、画面に表示されている機能や項目、ボタン操作については[]で、用語や設定値は「 」で囲って記載してあります。
- 本書の中では、重要な事柄、知っておいていただきたい事柄、便利な事柄を下記のマークを付けて説明しています。
※本製品をお使いいただく上で、守っていただきたいこと、してはいけないことを示します。
✓本製品をお使いいただく上で、知っておいていただきたいこと、より便利にお使いいただくヒントを示します。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
また、本書の内容については、万全を期しておりますが、万一お気づきの点、ご不明な点がありましたら、ご購入の販売店、あるいは当社までお問い合わせください。
- 本書の内容を一部、あるいは全部を無断で複製することや、インターネット上で公開することは禁止されております。

製品の保証について

- 本製品の保証期間はご購入の日付から1年間です。ご購入の日付がわかるレシート、納品書、領収書などを本製品と一緒に大切に保管してください。
- 本製品の保証は日本国内のみ有効です。また、海外では保証の有無に関わらず、修理やその他のサービスは受けられません。THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.
- 保証期間内であっても、下記に該当する場合は、保証の対象外となります。その場合は、保証期間内であっても有償にて修理を承る、あるいは修理をお断りすることがございますので、ご了承ください。
 - 誤ったご使用、不当な修理、分解、改造による故障および損傷。
 - 火災、地震など自然災害、天変地異による故障および損傷。
 - 不適切な場所での使用による故障および損傷。
 - 移設、輸送、落下、横転などによる故障および損傷。
 - 異常な電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障および損傷。
 - 本製品のお買い上げの日付がご不明の場合、あるいは日付を偽っていた場合。

ご使用上の注意

- お客様が本製品を運用された結果、およびその影響については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は日本国内での使用を前提にした仕様です。日本国外での使用に関しては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

USBメモリーについて

- USBメモリーのご使用に際しては、暗号化がされていない物、管理ソフトウェアが入っていない物をご使用ください。
- 万一、本製品およびUSBメモリーに保存された打刻のデータ、また同じUSBメモリーに保存されたその他全てのデータが消失、破損したことによる被害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 上記事由による消失、破損したデータの回復作業もお受けしておりませんのでご了承ください。

設置について

次のような場所でのご使用は避けてください。







- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 振動の激しい場所、または常時振動が発生する場所
- 気温が-5℃以下や、45℃以上の場所
- 化学薬品、腐食性ガス、オゾンなどの影響を受ける場所
- 自家発電装置や、バッテリーなど、安定した電源が供給されない場所

■安全上のご注意




本書は製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、守っていただきたい事項を示しています。





絵表示について

本製品の取扱説明および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。










 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 この表示は、分解してはいけないという、「禁止」を示しています。	
 この表示は、してはいけない、「禁止」行為であることを示しています。	
 この表示は、必ず実行していただきたい内容を示しています。	
 この表示は、必ずACコードをコンセントから抜いていただきたいことを示しています。	

警告

 本製品を分解しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 本製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 万一、発熱している、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合は、すぐにACコードをコンセントから抜いて、販売店もしくは当社までご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。

	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
	ACコードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとACコードをいため、火災、感電のおそれがあります。
	万一、異物（金属片、水、液体など）が機器の内部に入った場合は、すぐにACコードをコンセントから抜いて販売店、もしくは当社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
	濡れた手でACコードの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。

注意

	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	本製品の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
	ACコードを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。（必ずプラグ部を持って抜いてください。）コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
	本製品を移動させる場合は、必ずACコードをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
	印字ヘッド部分には、触れないよう、ご注意ください。けが、火傷の原因となることがあります。
	万一、本製品を落としたり、ケースを破損した場合は、ACコードをコンセントから抜いて販売店、もしくは当社までご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。
	本製品は、容易にACコードを抜くことが可能なところでご使用ください。万一、発熱している、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合に、すぐにACコードをコンセントから抜くことができないと火災、感電の原因となることがあります。

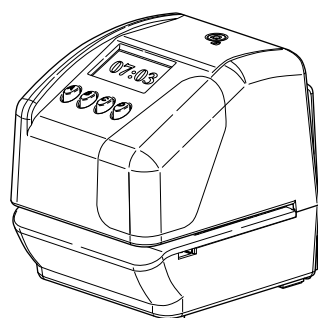
目次

はじめに	1	任意フォーマット入力	14
はじめにお読みください	1	保護・ライト	14
本書の記載について	1	設定一覧	15
製品の保証について	1	パスワード入力	23
ご使用上の注意	2	5. 拡張機能とPCとの連携	24
USBメモリーについて	2	拡張機能	24
設置について	2	設定ファイル	24
安全上のご注意	3	エラー報告ファイル	24
1. ご使用になる前に	6	打刻データの出力	25
箱の中身を確認する	6	打刻データの内容	25
各部の名称とはたらき	7	打刻データのファイル	25
電源を入れる	8	6. 資料	26
ご使用場所について	8	フォーマット一覧	26
壁に掛けて使う場合	8	定型コメント一覧	27
置いて使う場合	8	文字一覧	27
日頃のお手入れ	8	制御文字一覧	28
2. リボンカセットの交換	9	7. 困ったときは	29
3. 日常の操作	10	エラー・警告表示	29
印字の方法	10	エラー表示	29
印字位置と設定の関係	11	警告表示	29
ガイドゲージ、調整レバーの使い方	11	エラー・警告からの復帰方法	30
4. 設定	12	トラブルシューティング	31
設定操作方法	12	リセット方法	32
アイコン	12	用語集	33
画面の例	13	8. 仕様一覧	34
設定メニュー	13		
各機能の設定	13		

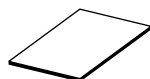
1. ご使用になる前に

箱の中身を確認する

本製品および下記の付属品が入っていることを確認してください。



TP-50本体



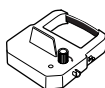
取扱説明書
(本書)



鍵



壁掛け取り付け
ねじ(2本)

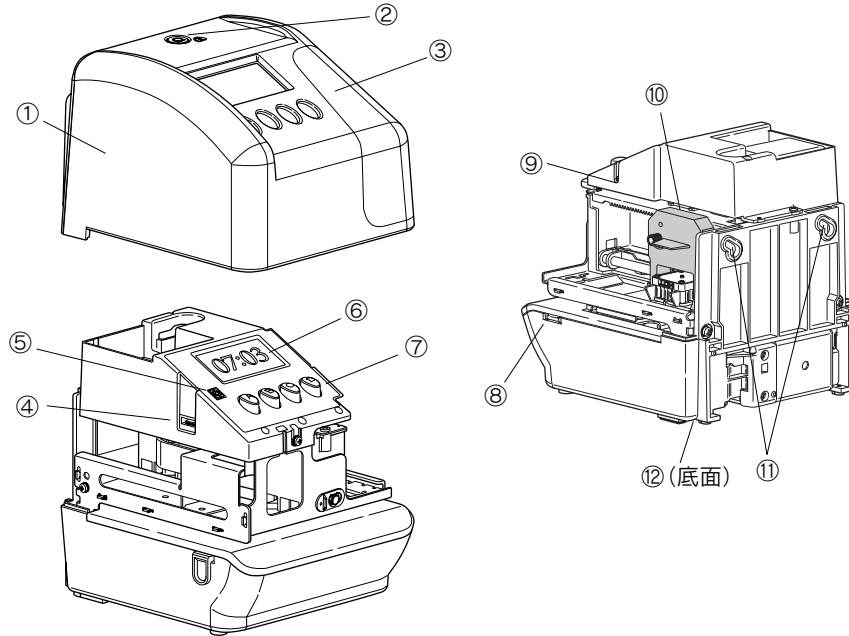


リボンカセット
(装着済)



ガイドゲージ
(ガイドゲージ穴に収納されています)

各部の名称とはたらき



番号	名称	はたらき
1	カバー	打刻以外の操作をする時に外します。
2	鍵穴	鍵を回してロックすることでカバーを外せないようにすることができます。 ✓ 設定などの操作時以外は、カバーや本体の落下を防ぐために、鍵をかけてください。
3	窓	印字部を見るための窓です。 打刻の際はここから印字部を見て、印字位置を調整してください。
4	USB端子	USBメモリーを差し込む場所です。USBメモリー以外の物は差せません。
5	設定ボタン	設定を開始、終了する際に押すボタンです。 待機画面表示中にこのボタンを押すとメインメニュー画面(→P.12)が表示され、各種設定モードへ進めます。
6	液晶画面	現在時刻や、設定操作時に各種情報を表示します。
7	操作ボタン(A~D)	本製品を操作するためのボタンです。表示されたアイコンに基づいた動作をします。
8	ガイドゲージ穴(左右側面)	ガイドゲージを装着するための穴です。本体の左右両方にありますので、使いやすい方に差し込んでお使いください。(→P.11)
9	リセットボタン	本製品が正しく動作しない時に使用します。
10	リボンカセット	本製品で印字をするためのインクです。(→P.9)
11	壁掛け用穴	本製品を壁に掛ける時に使用します。(→P.8)
12	調整レバー(底面)	紙の端面からの余白幅を調節します。(→P.11)

電源を入れる

- ① ACコードをコンセントにしっかりと差し込みます。
電源が入り、初期動作の後、画面に現在時刻が表示されます。

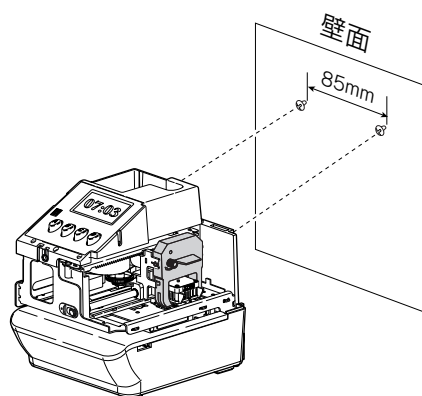
ご使用場所について

■壁に掛けて使う場合

本製品を壁に掛けて使用する場合、付属のネジを使って壁に掛けてください。

※付属のネジは、木造の厚い壁や木の柱で使用してください。それ以外の材質に壁掛けをすると本製品が落下してケガをしたり、故障の原因となったりする恐れがありますので、おやめください。

- ① ネジを85mmの間隔を開け、水平に取り付けてください。また壁とネジの頭の間には6mm隙間を残してください。
- ② 取り付けたネジに本製品背面の壁かけ用穴を合わせて、壁に掛けます。



■置いて使う場合

本製品を置いて使用する場合は、広く平らな場所に置いてください。

※傾斜のある場所、十分な広さを確保できない場所、机などの端でのご使用はおやめください。

■日頃のお手入れ

本体が汚れた時は、ACコードをコンセントから抜き、ほこりや汚れを乾いた布などで掃除してください。

※分解してはいけません。

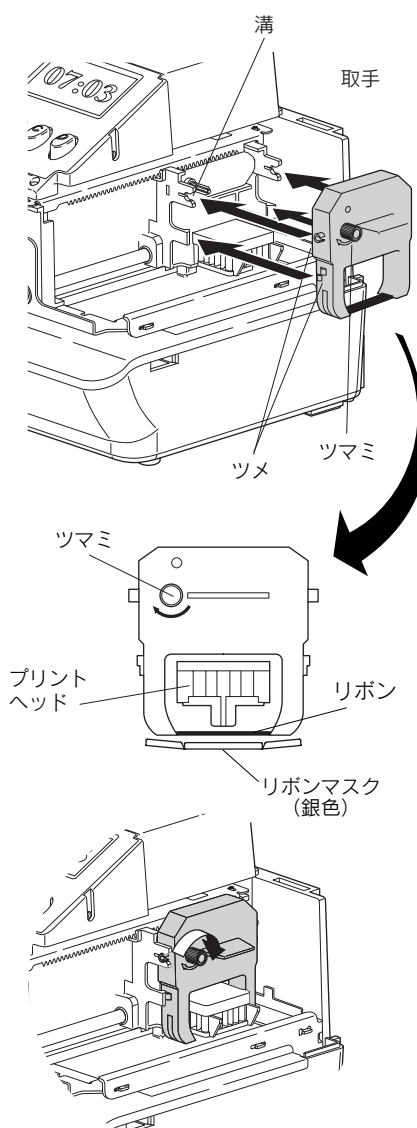
※アルコールやその他薬剤の使用、およびそれらを含む布のご使用はおやめください。

2. リボンカセットの交換

お買い上げ時、リボンカセットはあらかじめ装着してあります。時が経ち印字が薄くなったら、リボンカセットを交換してください。

✓リボンカセットはセイコーの「TP-1051SB」を使用してください。

- ① 鍵を回して開け、カバーを上を引き上げて外します。
- ② 現在付いているリボンカセットの取っ手を持ち、まっすぐ水平に引き、外します。
- ③ 新しいリボンカセットのつまみを右方向に回し、リボンのたるみを取ります。
- ④ リボンカセットのツメ(左右各2か所)を装着部の溝に合わせ、「パチッ」と音がするまで押し込みます。
✓入れにくい場合はつまみを回しながら入れてください。
- ⑤ つまみを矢印の方向に回します。
✓右図を参照し、リボンとプリントヘッド、リボンマスクの位置に気をつけながら装着してください。
- ⑥ カバーを装着し、鍵を掛けます。



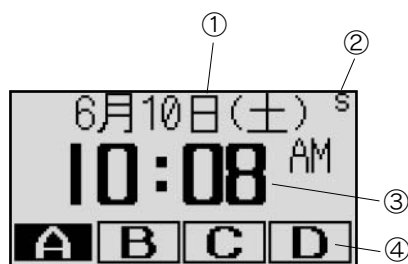
3. 日常の操作

印字の方法

液晶画面に大きく時計が表示されている時(待機画面表示中)に挿入口に用紙を入れると、選択中の印字パターンが印字されます。(右図の例の場合、印字パターン「A」の内容が印字されます。)

✓印字の開始方法には三種類あり、便利な印字方法を選択してお使いいただけます。(→p.20[6.印字方法])

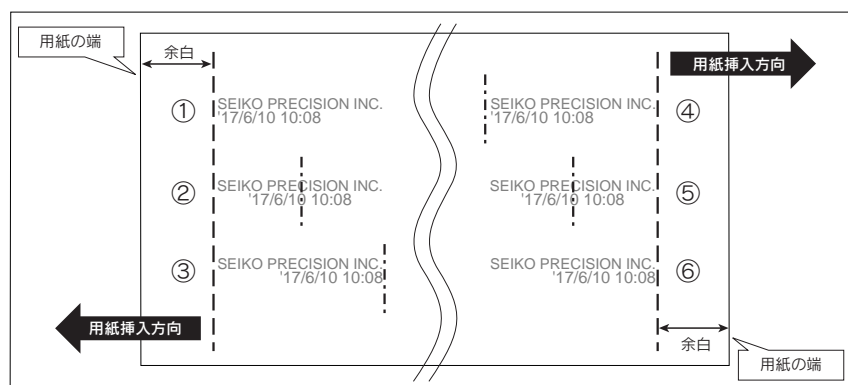
✓用紙は一番奥、突き当たるまで挿入してください。



番号	名称	意味	参照
1	日付表示	現在の日付が表示されます。 ✓タイムシフトを使用しても現在の日付が表示されます。	[日付] (→ p.15)
2	サマータイムマーク	サマータイム期間中に表示されます。 ✓サマータイム期間外、もしくは設定がない場合は表示されません。	[7.サマータイム] (→p.20)
3	時計	時刻が設定に応じた時制で表示されます。 ✓タイムシフトを使用しても現在の時刻が表示されます。 ✓サマータイム期間中は1時間進んだ時間が表示されます。	[時刻]、[表示時制] (→p.15~16)
4	アイコン	印字パターンを示すアイコンです。それぞれに対応したボタン[A]～[D]を押すことで、選択(もしくは印字)ができます。 ✓反転表示は選択中の印字パターンを示します。 ✓登録されていない印字パターンはアイコンが表示されません。 ✓[保護]で印字が「禁止」されている間は、アイコンが表示されません。 ✓[保護]で印字パターンの選択が「禁止」されている間は、選択出来ない印字パターンはアイコンが☒の表示になります。	「アイコン」 (→P.12)

印字位置と設定の関係

用紙を挿入する際は方向に注意してください。正しい方向に用紙を挿入しても印字の位置が異なる場合は、設定を確認してください。(→p.16[印字位置]、[行揃え])



番号	印字位置	行揃え	番号	印字位置	行揃え
1	左側	左揃え	4	右側	左揃え
2	左側	センタリング	5	右側	センタリング
3	左側	右揃え	6	右側	右揃え

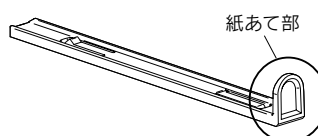
✓用紙の端からの余白の量は、本体底面の「調整レバー」を操作することで調節できます。

ガイドゲージ、調整レバーの使い方

●ガイドゲージ

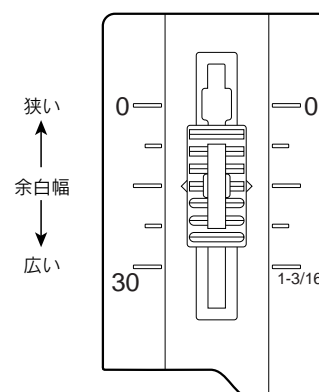
本体左右にある「ガイドゲージ穴」に装着していただくと、印字する場所を決める目安にできます。

- ✓ガイドゲージを使用する際は、紙あて部を上に向けてガイドゲージ穴に装着してください。
- ✓ガイドゲージを使用しない際は、紙あて部を下に向けてガイドゲージ穴に収納してください。



●調整レバー

本体底面に付いている「調整レバー」を操作することで、紙の端面から印字位置までの余白の幅を調節できます。調整可能範囲は紙の端面(0mm)から約30mmまでです。



4. 設定

設定操作方法

全ての設定操作は、画面の下部にアイコンで表示されるボタンの機能に従って行います。

① 鍵を回し、カバーを上を持ち上げて外します。

② [設定ボタン]を押し、メインメニューに進みます。

✓パスワードが設定されている場合、パスワードの入力画面が表示されます。(→p. 23「パスワード入力」)

③ 設定したい項目に応じて、表示されたアイコンのボタンを押します。
左から順にそれぞれのアイコンが操作ボタン[A]～[D]に対応しています。










上図アイコンの番号	説明	本体上のボタン
1	[設定メニュー]に進みます。	A
2	[保護]に進みます。	B
3	[ライト]に進みます。	C
4	[カウンターリセット]に進みます。	D

アイコン

ここでは、本製品の操作に使うボタンの役割を示す、アイコンについて説明します。アイコンとは、画面の下部に表示される、四角で囲まれたマークです。画面に表示され、左から順にそれぞれのアイコンが操作ボタン[A]～[D]に対応しています。




✓操作に使用しないボタンにはアイコンが表示されません。

アイコン	機能	表示画面	参照
	A～Dが表示され、選択可能な印字パターンを示します。印字パターンを選択する際に押してください。選択中の印字パターンは反転して表示され、打刻をすると選択中の印字パターンが印字されます。	待機画面	「印字の方法」 →p.10
	保護されていて選択できない印字パターンを示します。押してもその印字パターンは選択できません。	待機画面	
	設定するメニューや、機能を選択します。	設定メニュー	「設定メニュー」 →p.13
	メニューや機能の選択や、設定中の項目の決定に使用します。	設定メニュー 各機能設定 任意フォーマット	

アイコン	機能	表示画面	参照
	設定中の画面を終了し、1つ前の画面に戻ります。 ✓ 設定項目が点滅している時に押すと、設定中の項目はキャンセルされ、保存されません。	設定メニュー 各機能設定 任意フォーマット 保護 ライト	
	設定中の項目の数値や文字を変更します。	設定モード 各機能設定 任意フォーマット	「各機能の設定」 →p.13
	カーソルを右(左)に移動させます。	任意フォーマット	「任意フォーマット入力」 →p.14
	入力する文字の種類を選択します。	任意フォーマット	
	カーソルの前(左側)の文字を1つ削除します。(バックスペース)	任意フォーマット	
	1) 印字の保護を管理します。 2) 印字部のライトを操作します。	保護 ライト	「保護・ライト」 →p.14
	印字パターンの選択を管理します。	保護	
	表示(液晶画面)のライトを操作します。	ライト	




画面の例




■設定メニュー

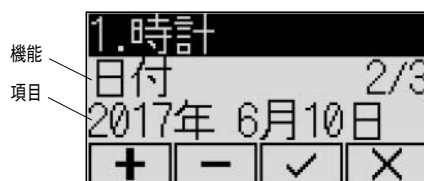
、を押して、設定するメニューを選択し、で決定します。




■各機能の設定

① 、を押して、設定する機能を選択し、で決定します。




② 、を押して数値を変更してで決定します。
✓ 各機能の項目は点滅している箇所が変更できます。







③ 全ての項目の設定が完了したら、を押して戻るか、[設定ボタン]を押して設定モードを終了させてください。




■任意フォーマット入力


任意フォーマットとは文字と制御文字を組み合わせて作る印字用のフォーマットです。あらかじめ本体に登録されている定型フォーマットと同様に、[1行目]、[2行目]に設定することで、印字できます。

- 1 、 ボタンで入力したい位置にカーソルを合わせて、 を押します。




- 2 、、 を押して入力の種類を選択します。
 - ✓  は押した回数だけカーソルの前(左側)の文字を削除します。
 - ✓ 入力できる文字は、「文字一覧」(→p.27)を参照してください。

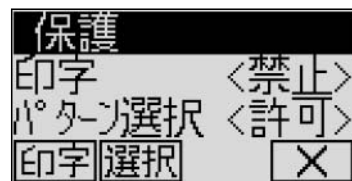
- 3 、 を押して入力する文字を選択し、 を押して決定します。


- 4 入力が終わったら、 を押してください。手順①に戻り、再びカーソルで入力位置を選択できます。

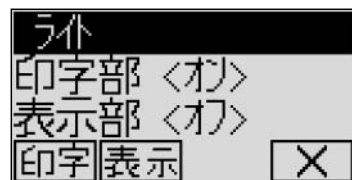
- 5 全ての入力が終わったら、「設定ボタン」を押して設定モードを終了させます。

■保護・ライト

- 1 印字、印字パターンを保護する設定、もしくは照明を設定します。対応したボタンを押すたびに、設定が変わります。
 - ✓ [印字]が「禁止」の間は、印字部の照明が消えます。
 - ✓ [パターン選択]が「禁止」の間は、選択できない印字パターンのアイコンがに変わります。



- 2 設定が終わったら、もしくは「設定ボタン」を押して設定モードを終了させてください。



設定一覧

設定の出来る機能と設定する項目の一覧です。

✓初期設定(オールクリア後に戻る設定)は下線で表示されています。

待機画面

打刻が出来る画面です。

画面に時計が表示されています。(→p.10「印字の方法」)

メインメニュー


待機画面で[設定ボタン]を押すとメインメニューになります。(→p.12「設定操作方法」)

設定したい内容に応じたアイコンを押して選択してください。

✓[設定ボタン]を押すには、鍵を開けてカバーを外す必要があります。

設定メニュー

本製品の機能に関する設定を行います。

、を押して、メニューを選択し、を押して決定してください。

1. 時計

本製品の時計(年月日と時刻)の設定をします。

時刻

本製品の時刻を設定します。現在時刻を設定してください。

✓[表示時制]の設定によって、12時間制(AM/PM表示)もしくは24時間制で表示されます。

✓時刻を変更すると、秒は「00」に戻り、[分]を決定すると再び動き出します。

✓時刻は設定ファイルでは設定できません。

項目	設定範囲	説明
時	00~23	現在時刻の「時」を入力してください。
分	00~59	現在時刻の「分」を入力してください。

✓初期設定は「12:00 AM」です。

日付

本製品の日付を設定します。現在の日付を設定してください。

✓設定可能な年は2000年~2099年です。

✓曜日は自動的に設定されます。

✓日付は設定ファイルでは設定できません。

項目	設定範囲	説明
年	00~99	現在の日付の「年」を、西暦の下2桁で入力してください。
月	01~12	現在の日付の「月」を入力してください。
日	01~31	現在の日付の「日」を入力してください。

✓初期設定は「2017年1月1日」です。

表示時制

画面上に表示される時制を設定します。

選択番号	意味	説明
1	AM/PM	12時間制で時間を表示します。時刻の後ろに午前、午後を表すAM、PMが表示されます。
2	24時間制	24時間制で表示されます。AM、PMは表示されません。

2.印字パターン

印字パターンAを設定します。

- ✓ 打刻データを本体内存りに保存したい場合、[1行目]もしくは[2行目]に「カウンター」を含むフォーマットを選択してください。
- ✓ 印字パターンB～Dは拡張機能です。本体操作では設定できません。

1行目

1行目のフォーマットを選択します。

- ✓ [任意フォーマット-1(2)]は「3.印字内容」で作成します。
- ✓ [32]～[37]は拡張機能の[任意フォーマット-3(～8)]です。本体操作では設定できません。

選択番号	意味	説明
1～29	定型フォーマット	フォーマットの詳細はフォーマット一覧を参照してください。 (→p.26)本製品にあらかじめ登録されているフォーマットです。
30～31	任意フォーマット	自分で作成した[任意フォーマット-1(2)]を選択します。

2行目

2行目のフォーマットを選択します。

- ✓ [任意フォーマット-1(2)]は「3.印字内容」で作成します。
- ✓ [32]～[37]は拡張機能の[任意フォーマット-3(～8)]です。本体操作では設定できません。

選択番号	意味	説明
0	設定なし	2行目を印字せず、1行目のみで印字を終了します。
1～29	定型フォーマット	フォーマットの詳細はフォーマット一覧を参照してください。 (→p.26)本製品にあらかじめ登録されているフォーマットです。
30～31	任意フォーマット	自分で作成した[任意フォーマット-1(2)]を選択します。

印字位置

用紙に対して印字する位置を設定します。

- ✓ 設定ごとの印字のされ方は「印字位置と設定の関係」(→p.11)を参照してください。

選択番号	意味	説明
1	左側	用紙の左側に印字します。用紙の挿入方向に注意してください。
2	右側	用紙の右側に印字します。用紙の挿入方向に注意してください。

行揃え

1行目と2行目の印字の揃え方を設定します。

- ✓ 行揃えと設定の関係は「印字位置と設定の関係」(→p.11)を参照してください。

選択番号	意味	説明
1	左揃え	文頭に揃えて印字します。
2	センタリング	文の中心に揃えて印字します。
3	右揃え	文尾に揃えて印字します。

タイムシフト

タイムシフト-1の適用を設定します。

✓[2]~[4]は拡張機能の[タイムシフト-2(~4)]です。

本体操作では設定できません。

選択番号	意味	説明
0	現在日時	現在日時を印字します。
1	タイムシフト	現在日時の代わりに、[5.タイムシフト]→[シフト-1]で設定した内容に基づいた未来の日時を印字します。

カウンター

カウンター1の適用を設定します。

✓本体操作のみで使用している場合には、この項目は設定不要です。

✓カウンター値を印字したい場合、[1行目]もしくは[2行目] (→p.16)に「カウンター」を含むフォーマットを選択してください。

✓[2]~[4]は拡張機能の[カウンター2(~4)]です。

本体操作では設定できません。

選択番号	設定範囲	説明
1	カウンター1	[7.カウンター]→[カウンター1]で設定した内容に基づいたカウンターを適用します。

3.印字内容

印字の内容を設定します。

年桁数

印字をする年の桁数を設定します。

選択番号	意味	説明
1	2桁	「'」に続けて西暦の下2桁を印字します。
2	4桁	西暦を4桁で印字します。
3	和暦	元号のイニシャルに続けて和暦を印字します。 例:H29(2017年の場合)

印字時制

印字をする時刻の時制を設定します。

選択番号	意味	説明
1	AM/PM	午前、午後を表すAM、PMに続けて12時間制で時間を印字します。
2	24時間制	24時間制で印字します。AM、PMは表示されません。

桁合わせ

1桁の「月」や「日」、時間の「時」を印字した際に+の位に「0」を付ける設定をします。

選択番号	意味	説明
1	0無し	桁を合わせる0を付けません。印字する日付や時刻によっては印字の長さが変わります。
2	0付き	桁を合わせる0を付けます。印字する日時や時刻による印字の長さが比較的同じになります。

定型コメント

コメントを含むフォーマットを選択した際に印字するコメントを設定します。
✓ 定型コメントを印字したい場合は、[1行目]、もしくは[2行目] (→p.16) において、「コメント」を含むフォーマットを選択してください。

選択番号	意味	説明
1~15	定型コメント	定型コメントの詳細は定型コメント一覧を参照してください。(→p.27)

任意フォーマット-1

任意フォーマット-1を作成します。「任意フォーマット」とは任意の文字と制御文字を組み合わせて作る印字用のフォーマットです。任意フォーマット入力 (→p.14) を参照してください。

任意フォーマット-2

任意フォーマット-2を作成します。任意フォーマット入力 (→p.14) を参照してください。

4.カウンター

カウンター1の内容を設定します。
✓ 設定が変更されると、カウンター値はリセットされます。
✓ 「カウンター2(～4)」は拡張機能です。本体操作では設定できません。

桁数

選択番号	意味	説明
1~8	桁数	使用する桁数を設定します。カウンター値は必ず設定した桁数で印字され、カウンター値より上位の桁は全て0で表示されます。

最大値

選択番号	意味	説明
1~99999999	最大値	使用する最大の値を設定します。設定した数値より大きな値は使用されません。

最小値

選択番号	意味	説明
0~99999998	最小値	使用する最小の値を設定します。設定した数値より小さな値は使用されません。

初期値

選択番号	意味	説明
0、1~99999999	初期値	[カウンターリセット] (→p.22) が実行された時に戻る値を設定します。[最大値]より大きい値、および[最小値]より小さい値は設定できません。

増減・回数

カウンター値のカウント方法と、リピートの回数を設定します。

選択番号	意味	説明
-9~-1、 0、 <u>+1</u> ~+9	増減(+/-) 回数(数値)	<ul style="list-style-type: none">●「+」はカウントアップを表し、指定のリピート回数を繰り返して印字した後、カウンターの値は増えていきます。●「-」はカウントダウンを表し、指定のリピート回数を繰り返して印字した後、カウンターの値は減っていきます。●「0」~「9」の数値はリピート回数を表し、同じカウンター値をこの回数印字した後、カウンター値は次の値に変わります。「0」を設定した場合、常に同じカウンター値が印字されます。

印字終点

カウンター値が最大値(もしくは最小値)に達した時の動作を設定します。

選択番号	意味	説明
<u>1</u>	最大値/ 最小値	[増減・回数]が「+」(カウントアップ)の場合は最大値に、「-」(カウントダウン)の場合は最小値に到達すると印字を停止し、以後の打刻は受け付けません。 ✓印字を再開するには[カウンターリセット]を実行してください。(→p.22)
<u>2</u>	無し	[増減・回数]が「+」(カウントアップ)の場合は最大値に到達すると最小値に戻り、「-」(カウントダウン)の場合は最小値に到達すると最大値に戻り、引き続き印字ができます。

リセット方法

カウンター値を初期値に戻す方法を設定します。

選択番号	意味	説明
<u>1</u>	無効	[カウンターリセット]でカウンター値のリセットはできません。
2	毎日	日付が変わると自動的にカウンター値は初期値に戻ります。 [カウンターリセット]でカウンター値のリセットもできます。
3	手動	[カウンターリセット]でカウンター値のリセットができます。

5.タイムシフト

現在日時の代わりに打刻する、未来の日時を設定します。

✓「タイムシフト-2(〜4)」は拡張機能です。本体操作では設定できません。

タイムシフト-1

未来にシフトさせる日時の設定をします。

選択番号	意味	説明
日	00~14	未来にシフトさせる日数を設定します。
時	00~23	未来にシフトさせる時間数の「時」を設定します。
分	00~59	未来にシフトさせる時間数の「分」を設定します。

6. 印字方法

印字開始方法

印字の開始方法を設定します。

選択番号	意味	説明
1	紙挿入	紙が挿入されると印字を開始します。あらかじめ[A]~[D]を押して印字パターンを選択しておいてください。
2	ボタン(紙検知有)	紙が挿入されている時に、[A]~[D]を押して印字パターンを選択すると印字を開始します。
3	ボタン(紙検知無)	紙の挿入に関わらず、[A]~[D]を押して印字パターンを選択すると印字を開始します。

7. サマータイム

サマータイムを設定します。サマータイムを設定すると、開始日の午前2時になると自動的に時刻が1時間進み午前3時となり、終了日の午前3時になると自動的に時刻が1時間戻り午前2時となります。

✓日本では採用されていない制度です。サマータイム制度が導入された際に設定してください。

開始日

サマータイムの開始日を設定します。

✓開始日を設定すると、翌年以後はカレンダーに基づいて開始日を自動的に判定します。

項目	意味	説明
年	00~99	開始日の「年」を西暦の下2桁で入力します。設定可能な年は2000年~2099年です。
月	01~12	開始日の「月」を入力します。
日	01~31	開始日の「日」を入力します。

終了日

サマータイムの終了日を設定します。

✓終了日を設定すると、翌年以後はカレンダーに基づいて終了日を自動的に判定します。

項目	意味	説明
年	00~99	終了日の「年」を西暦の下2桁で入力します。設定可能な年は2000年~2099年です。
月	01~12	終了日の「月」を入力します。
日	01~31	終了日の「日」を入力します。

削除

実行すると、サマータイムの開始日と終了日の設定が削除されます。

8.パスワード

パスワードを設定します。

- ✓パスワードを設定すると[設定]を押した時にパスワードの入力を求められます。「パスワード入力」(→p. 23)を参照してください。
- ✓パスワードは設定ファイルでは登録、変更できません。

登録

選択番号	意味	説明
0001~ 9999	パスワード設定	パスワードを設定します。
0000	パスワード未設定	現在設定されているパスワードを「0000」に変更すると、現在のパスワードは削除されます。

9.データ

USBメモリーを使用した操作や打刻データ管理のための設定をします。

設定入力 USB

- USBメモリーに保存されている「設定ファイル」を本製品に適用します。
- ✓USB端子に有効なUSBメモリーを差し込んでから「実行」してください。
 - ✓USBの動作中にUSBメモリーを引き抜かないでください。

データ出力 USB

- 本製品の本体内メモリーに保存されている打刻データをUSBメモリーに出力します。(→p. 25「打刻データの出力」)
- ✓USB端子に有効なUSBメモリーを差し込んでから「実行」してください。
 - ✓動作中にUSBメモリーを引き抜かないでください。
 - ✓この操作を実行しても本製品の本体内メモリーに保存されている打刻データは削除されません。削除するには別途「データ削除」を行ってください。

データ削除

- 本製品の本体内メモリーに保存されている打刻データを削除します。
- ✓一度削除した打刻データは復旧できません。
 - ✓打刻データは一括して全て削除されます。

機器No.

- 本製品を複数台使用する際にそれぞれを区別するための「機器No.」を設定します。
- ✓機器No. は設定ファイルでは設定できません。

選択番号	意味	説明
001~999	機器No.	本製品に識別用の番号を設定します。

メモリ満杯時

本製品の本体内メモリーが満杯で、打刻データを保存できないときの動作を設定します。

選択番号	意味	説明
1	打刻のみ	打刻データは本体内メモリーに保存されず、印字だけを行います。
2	停止	印字ができなくなります。

保護

印字や印字パターン選択の保護設定をします。(→p.14「保護・ライト」)

選択番号	意味	説明
印字	許可／禁止	[印字]を押すたびに「禁止」と「許可」が入れ替わります。「禁止」の間は印字ができません。また、印字部の照明が消えます。
選択	許可／禁止	[選択]を押すたびに「禁止」と「許可」が入れ替わります。「禁止」の間は印字パターンの選択ができません。

ライト

印字部、表示画面の照明を設定します。(→p.14「保護・ライト」)

選択番号	意味	説明
印字	オン／オフ	[印字]を押すたびに「オン」と「オフ」が入れ替わります。
表示	オン／オフ	[表示]を押すたびに「オン」と「オフ」が入れ替わります。

カウンターリセット

カウンター値を初期値に戻します。

✓ [リセット方法] (→p.19)が「無効」に設定されているカウンターはカウンターリセットできません。[カウンターALL]を実行しても、「無効」に設定されているカウンターはカウンターリセットできません。

項目	設定範囲	説明
カウンター1	実行	カウンター1のカウンター値が初期値に戻ります。
カウンター2	実行	カウンター2のカウンター値が初期値に戻ります。
カウンター3	実行	カウンター3のカウンター値が初期値に戻ります。
カウンター4	実行	カウンター4のカウンター値が初期値に戻ります。
カウンターALL	実行	全てのカウンターのカウンター値が初期値に戻ります。

パスワード入力

本製品にパスワードが設定されている場合、[設定ボタン]を押すとパスワード入力画面が表示されます。

- 1 、を押して1桁目の数値を変更してで決定します。
- 2 同じように2桁～4桁目も入力します。正しいパスワードが入力されると「メインメニュー」が表示されます。



5. 拡張機能とPCとの連携

拡張機能

本製品の本体上で設定および、使用できるのは「基本機能」のみですが、PC上で作成した「設定ファイル」をUSBメモリー経由でインストールすることで、「拡張機能」が使えるようになります。拡張機能は本体上で設定したり、変更したりすることはできません。

	基本機能	拡張機能
設定方法	本体操作 —	本体操作 設定ファイル
印字パターン	1種類	4種類
任意フォーマット	2種類	8種類
文字フォント選択	不可	可能
カウンター	1種類	4種類
タイムシフト	1種類	4種類

✓ 上記の拡張機能の数には、基本機能の数を含みます。

✓ [時刻]、[日付]、[機器No.]、[パスワード]の設定は設定ファイルでは行えません。

設定ファイル

本製品では本製品用に作成された「設定ファイル」をUSBメモリー経由で本体に適用することで、拡張機能を使用することができます。(→p.21「設定入力 USB」)

「設定ファイル」とは「CIFSDxxx.txt」(xxxは3桁の数字)の名前になっているテキストファイルです。本製品に適用するには、USBメモリーのルートフォルダに保存されたファイルのファイル名の3桁の数字と本体の機器No. が合致する必要があります。

なお、「CIFSD000.txt」のファイルは本体の機器No. に関係なくすべての機器に適用されます。ただし、ファイル名の3桁の数字が本体の機器No. と合致する設定ファイルも存在する場合、そちらが優先して適用されます。

「設定ファイル」を作成するには、当社ホームページで公開されている作成ツールをご利用ください。<http://www.seiko-p.co.jp/>

エラー報告ファイル

エラー報告ファイルとは、本製品に適用した「設定ファイル」が誤った設定の情報や、無効な情報を含んでいた場合にUSBメモリーに作成されるファイルです。

エラーファイルは「CIFSDxxx.err」(xxxはエラーファイルを出力した本体の機器No.)の名前になっているファイルです。テキストファイルを開けるソフトウェアを使用して開いてください。

エラー報告ファイルの詳細については、設定ファイル作成ツールを参照してください。

✓ 設定ファイルが誤った設定などを含んでいた場合、「W66」が表示されます。

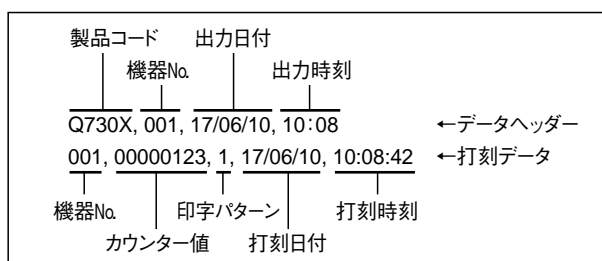
打刻データの出力

本製品では打刻データを本体メモリに保存し、それらの打刻データをUSBメモリに出力することができます。出力した打刻データはパソコンの表計算ソフトなどで参照することができます。

✓「カウンター値」を含まない打刻データは、本体メモリに保存されず、USBメモリに出力することもできません。

■打刻データの内容

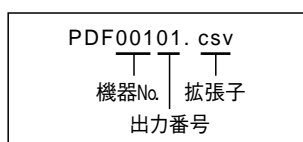
保存される打刻データの内容は、打刻した年月日、時刻(時分秒)、選択された印字パターン、機器No.、カウンター値です。カウンター値を含まない打刻は記録されません。出力されるデータの内容は下図の通りです。



■打刻データのファイル

出力したデータは下図の例に従ったファイル名になります。ファイル形式はcsvです。

✓打刻データの出力を行っても本体メモリから打刻データは削除されません。
(p.21)



6. 資料

フォーマット一覧

[1行目]、[2行目] (→p.16)で選択できるフォーマットの一覧です。

番号	内容	印字イメージ
1	月/日 時:分	6/10 AM10:08
2	月/日 曜 時:分	6/10 土 AM10:08
3	月/日 曜 時:分:秒	6/10 土 AM10:08:42
4	月/日/年 時:分	6/10/'17 AM10:08
5	年/月/日 時:分	'17/6/10 AM10:08
6	年/月/日 曜 時:分	'17/6/10 土 AM10:08
7	年/月/日 時:分:秒	'17/6/10 AM10:08:42
8	年/月/日 曜 時:分:秒	'17/6/10 土 AM10:08:42
9	日 曜 時:分	10 土 AM10:08
10	日 時:分	10 AM10:08
11	時:分	AM10:08
12	月/日	6/10
13	月/日 曜	6/10 土
14	年/月/日	'17/6/10
15	年/月/日 曜	'17/6/10 土
16	コメント 月/日/年	ウケツケ 6/10/'17
17	コメント 年/月/日	ウケツケ '17/6/10
18	月/日/年 コメント	6/10/'17 ウケツケ
19	年/月/日 コメント	'17/6/10 ウケツケ
20	コメント 日 時:分	ウケツケ 10 AM10:08
21	No. 月/日/年	00000123 6/10/'17
22	No. 年/月/日	00000123 '17/6/10
23	月/日/年 No.	6/10/'17 00000123
24	年/月/日 No.	'17/6/10 00000123
25	No. 日 時:分	00000123 10 AM10:08
26	No. 月/日 時:分	00000123 6/10 AM10:08
27	No. 年/月/日 時:分	00000123 '17/6/10 AM10:08
28	No. 年/月/日 時:分:秒	00000123 '17/6/10 AM10:08:42
29	No.	00000123
30~31	任意フォーマット-1~2	(→p.18)
32~37	任意フォーマット-3~8	(拡張機能)
0	(設定無し)	(印字なし)

√印字イメージは、[年桁数]=[1,2桁]、[時制]=[1.AM/PM]、[桁合わせ]=[1.0無し]、カウンターの[桁数]=[8桁]、[定型コメント]=[1.ウケツケ]の場合です。

定型コメント一覧

[1行目]、[2行目] (→p.16)でコメントを含むフォーマットを選択した際に印字されるコメントの一覧です。

番号	内容	番号	内容	番号	内容	番号	内容
1	ウケツケ	5	IN	9	キゲン	13	マデ
2	ハツコウ	6	RCVD	10	シメキリ	14	TO
3	カラ	7	SENT	11	シアガリ	15	OUT
4	FROM	8	FAXED	12	ヘンキヤク		

文字一覧

任意フォーマット (→p.14, 18)で選択出来る文字の一覧です。

- ✓文字と文字の間には1ドット空白が入ります。1行の長さには文字間の空白ドットも含まれます。
- ✓1行に入力できる内容は最大160ドットです。
- ✓定型フォーマットで表示される文字はドット数が異なります。
- ✓拡張機能を用いて、文字のサイズ(フォント)を変更した場合、必要なドット数は異なります。
- ✓曜日の漢字は曜日を示す印字の時のみ使用されます。

文字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
ドット数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5

文字	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	a	b	c	d	e	f
ドット数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	3

文字	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	#
ドット数	4	4	1	2	4	1	5	4	4	4	4	4	4	3	4	4	5	5	4	5	5

文字	\$	@	[¥]	^	`	{		}	~	CL	'	*	+	,	-	.	/	:	;
ドット数	5	5	4	5	4	3	2	4	3	4	5	7	2	5	5	3	4	3	5	3	3

文字	_	&	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ
ドット数	3	7	7	6	7	6	7	5	6	6	7	6	7	7	7	7

文字	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ
ドット数	8	7	7	8	7	6	7	7	7	7	7	8	7	7	8	8	7	7	8	7	7

文字	ヤ	ャ	ユ	ュ	ヨ	ョ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	°	°	。	「	」	、	・
ドット数	7	6	7	6	7	6	7	6	8	6	7	7	7	8	4	4	5	5	5	5	5

文字	一	SP	月	火	水	木	金	土	日
ドット数	6	3	7	7	7	7	7	7	6

✓CLは時計マークを、SPはスペース(空白)を表します。

制御文字一覧

制御文字とは任意フォーマット内に入力することで、特定の文字列を展開したり、印字内容の切換を行ったりするための記号です。実際にはこの記号が印字されるのではなく、それぞれの記号に対応した数字や文字列が印字されます。

表示	意味	説明
Ⓒ	年	任意フォーマット内に「年」を入れます。 使用するドット数は設定によって異なります。
Ⓓ	月	任意フォーマット内に「月」を入れます。 使用するドット数は設定によって異なります。
Ⓔ	日	任意フォーマット内に「日」を入れます。 使用するドット数は設定によって異なります。
Ⓕ	曜日	任意フォーマット内に「曜日」を入れます。
Ⓖ	時分	任意フォーマット内に時刻(時:分)を入れます。 使用するドット数は設定によって異なります。
Ⓗ	時分秒	任意フォーマット内に時刻(時:分:秒)を入れます。 使用するドット数は設定によって異なります。
Ⓖ	カウンター値	任意フォーマット内にカウンターの値を入れます。 使用するドット数は設定によって異なります。
Ⓙ	タイムシフト	タイムシフトの適用(未来の日時)・無効(現在の日時)を切り替えます。このコードを入力するたびに、それより後ろの文字列にある日時の印字が未来の日時、現在の日時の順に切り替わります。
Ⓝ	機器No.	本体に設定された機器No.を入れます。
Ⓔ	太文字	それより後ろの文字列を太文字にします。 拡張機能専用の制御コードです。本体操作では入力できません。 太文字がない文字は標準文字あるいは小さめ文字で印字されます。
Ⓒ	標準文字	それより後ろの文字列を標準文字にします。 拡張機能専用の制御コードです。本体操作では入力できません。 標準文字がない文字は、太文字あるいは小さめ文字で印字されます。
Ⓒ	小さめ文字	それより後ろの文字列を小さめ文字にします。 拡張機能専用の制御コードです。本体操作では入力できません。 小さめ文字がない文字は、標準文字あるいは太文字で印字されます。

7. 困ったときは

エラー・警告表示

■エラー表示

エラーや警告が表示された時は、対応に記載された事柄を確認してください。

番号	表示	原因	対応
E00	リセットヲ実行	メインCPUエラー	●リセットを実行してください。
E01		メモリーバックアップ用電池のエラー	
E15		センサーのエラー	
E16	メーカー間合ワセ	設定、打刻データ保存用メモリーのエラー	
E17			
E30	リセットヲ実行	正しく印字動作ができません。	●本体内部に異物がないか確認してください。
E32			●リボンカセットが正しく装着されていることを確認してください。
E38			●リセットをしてください。
E39			
E60	リセットヲ実行	USBメモリーエラー	●他のUSBメモリーを使用してください。 ●リセットを実行してください。
E69	USBメモリーヲサシテクダサイ	USB回路のエラー	●USBメモリーが正しく装着してあることを確認してください。USBメモリー以外の物がUSBコネクタに装着してある場合外してください。 ●リセットを実行してください。

✓ 上記の手順を行ってもエラー表示が解消されない場合、お買い求めいただいた販売店、もしくは当社までご連絡ください。

■警告表示




番号	表示	原因	対応
W05	印字ノヤリナオシ	用紙の挿入エラー	●W05が表示されている間(10秒間)にもう一度紙を正しく挿入してください。この10秒の間、時計は一時的に停止していません。
W07	任意フォーマット未入力	1) 印字パターンが登録されていません。 2) 任意フォーマット-1(2)に印字内容がありません。	●[1行目]にフォーマットを設定してください。(→p.16) ●[任意フォーマット-1(2)]に印字内容を入力してください。(→p.18)

番号	表示	原因	対応
W08	ナンバリング終了	カウンター値が限界に達しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● [印字終点]を「2.無し」に設定してください。(→p.19) ● [カウンターリセット]を実行してください。(→p.22)
W09	打刻キオクケンスウオーバー	本体のメモリーがいっぱいです。	<ul style="list-style-type: none"> ● [メモリ満杯時]を「1.打刻のみ」に設定してください。(→p.22) ● データ削除]で本体内メモリーから打刻データを削除してください。(→p.21)
W40	パスワードガチガイマス	入力されたパスワードが間違っています。	● 正しいパスワードを入力してください。(→p.23)
W41	サマータイム設定エラー	サマータイムの開始日・終了日が正しくありません。	● [7. サマータイム]を正しく設定してください。(→p.20)
W49	設定デキマセン	1) 任意フォーマットが長すぎます。 2) カウンターの設定に矛盾があります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「文字一覧」(→p.27)を参照し、160ドット/47文字以内で作成してください。 ● [最大値]、[最小値]、[初期値]に正しい数値を設定してください。(→p.18)
W61	打刻データガアリマセン	出力するデータがありません。	● [1行目]、[2行目]に選択した印字パターンがカウンターを含んでいるかを確認して、打刻をやり直してください。(→p.16、26)
W62	USB書込エラー	USBメモリーの書き込みができません。	● 他のUSBメモリーを使用してください。
W63	USB読出エラー	USBメモリーから設定ファイルが読み出せません。	● 他のUSBメモリーを使用してください。
W64	設定ファイルガアリマセン	設定ファイルが見つかりません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しい設定ファイルをUSBメモリーに保存し、もう一度やり直してください。 ● 他のUSBメモリーを使用してください。
W65	USBメモリ不足	USBメモリーの空き容量不足です。	<ul style="list-style-type: none"> ● USBメモリー内の空き容量を確認してください。 ● 他のUSBメモリーを使用してください。
W66	USB設定データエラー	設定ファイルにエラーがあります。	● USBメモリー内のエラーファイルを確認してください。
W67	USBガ書込禁止デス	USBメモリーが物理的にあるいはソフトウェアでロックされています。	● USBメモリーのロックの状態を確認して、もう一度やり直してください。
W68	USB認識エラー	このUSBメモリーは使えません。	● 他のUSBメモリーを使用してください。

■エラー・警告からの復帰方法

- ✓ 警告 (Wxx) の場合：しばらく待つと、自動的に復帰します。
- ✓ エラー (Exx) の場合：[設定ボタン]を3秒以上長押ししてください。

トラブルシューティング

状況	対応
本製品が動作しない。 画面に何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ACコードが正しくコンセントに差し込まれていることを確認してください。
用紙が詰まった。 用紙が取り出せない。	<ul style="list-style-type: none"> ●[設定ボタン]を3秒以上長押しし、本製品が動き始めたら紙を引き抜いてください。
印字ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●インクリボンカセットが正しく装着されていることを確認してください。 ●液晶画面に待機画面(時計が表示されている)が表示されていることを確認してください。(→p.10「印字の方法」) ●[印字開始方法]の設定(→p.20)を確認してください。「3.手動(紙検知無し)」が設定されている場合、ボタンを押さないと印字は始まりません。 ●[印字終了]の設定(→p.19)を確認してください。カウンターが最大値もしくは最小値に到達すると打刻を受け付けない設定になっている可能性があります。 ●[メモリ満杯時]の設定(→p.22)を確認してください。本体メモリが満杯の時に打刻を受け付けない設定がされている可能性があります。 ●[保護]で[印字]の設定(→p.22)を確認してください。「禁止」になっている場合、液晶画面のアイコン表示( ~ )が消えます。
印字される文字が逆さま。 印字される位置が違う。	<ul style="list-style-type: none"> ●[印字位置]の設定(→p.16)を確認してください。 ●底面に付いている調整レバーと、ガイドゲージを使用して調整してください。(→p.11)
印字する位置を固定したい。	<ul style="list-style-type: none"> ●底面についている調整レバーと、ガイドゲージを使用して調整してください。(→p.11)
印字パターンが選択できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●[保護]で[選択]の設定(→p.22)を確認してください。「禁止」になっている場合、選択できない印字パターンが  の表示になっています。 ●複数の印字パターンが登録されていることを確認してください。 ✓ 複数の印字パターンを登録するには拡張機能(→p.24)を使用する必要があります。
印字部の照明が消えている	<ul style="list-style-type: none"> ●[ライト]で[印字](→p.22)の設定を確認してください。 ●[保護]で[印字](→p.22)の設定を確認してください。「禁止」になっている間は、印字部の照明が消えます。
印字される日時、時刻が間違っている	<ul style="list-style-type: none"> ●[タイムシフト]の設定(→p.17)を確認してください。タイムシフトが適用になっている場合は未来の日時を印字します。

状況	対応
打刻データが保存されていない	<ul style="list-style-type: none"> ● [1(2)行目]の設定(→p.16)を確認し、選択しているフォーマットに「カウンター」が含まれていることを確認してください。 ● [9.データ]→[メモリ満杯時]の設定(→p.22)を確認してください。本体メモリーが満杯の時に打刻データを保存しない設定がされている可能性があります。
パスワードを削除したい	<ul style="list-style-type: none"> ● [8.パスワード]で[登録]設定を(→p.21)を「0000」と設定してください。
自分で作った「任意フォーマット-1(2)」を印字したい。	<ul style="list-style-type: none"> ● [1(2)行目]の設定(→p.16)を確認してください。
任意フォーマット入力画面で、「---/160」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 「---」部分は、任意フォーマットに入力された内容の合計ドット数が表示され、最大160ドットのうち何ドットを使用しているかがわかります。 ● 印字パターンで[任意フォーマット-1(もしくは2)]が選択されていない場合、「---/160」と表示されます。

リセット方法

■リセット

鍵を回してカバーを外した後、[リセットボタン]を押してください。

✓設定は消えません。

■オールクリア

鍵を回してカバーを外した後、**[A]**と**[C]**を同時に押している間に[リセットボタン]を押してください。

✓全ての設定は消去され、初期設定に戻ります。ただし、本体にメモリーされている打刻データは削除されません。初期設定の内容は、「設定一覧」(→p.15)を参照してください。

用語集

用語	意味
csvファイル	PCの表計算ソフトで広く使えるファイル形式です。本体メモリー内の打刻データはこの形式でUSBメモリーに出力されます。
txtファイル	PC上で広く使われている文字列を記述するためのファイル形式です。本製品用の設定ファイルはこのファイル形式で記述します。
印字パターン	2行一組からなる、打刻した時の印字内容のことです。1行目、2行目それぞれにフォーマットを設定してください。
カウンター	設定した内容に基づいて数字を印字する機能です。カウンターを含むフォーマットを選択すると印字できます。任意フォーマットに入れる場合は、制御文字で指定します。
カウンター値	カウンターの設定に基づいて、打刻をした際に印字される数値のことです。カウンター値を含まない打刻データは本体メモリーに保存されません。
拡張機能	設定ファイルを使って設定をすることで使用が可能になる追加の機能です。本体のみでは使用できません。
機器No.	本製品において、それぞれの機器を区別するために本体に付与する3桁の数字です。本製品を複数台使用する時などに便利です。任意フォーマットに入れる際は制御文字で指定します。
基本機能	本体のみで設定と使用が可能な機能のことです。
制御文字	任意フォーマット入力において、特定の文字列を使用したり、文字を切り替えたりするのに使う記号です。実際には印字されません。
設定ファイル	本製品用の設定が記載されているテキスト形式のファイルです。設定ファイルでは基本機能のみならず、拡張機能も設定ができます。
タイムシフト	現在日時から一定の日数・時間数を未来に移動させた日時を印字する機能です。締切、返却期限などを印字するのに便利です。
打刻	本製品に用紙を挿入し、用紙に日時などの印字をすることを指します。
打刻データ	打刻をした時の日時や、その他打刻に関係したデータのことです。「カウンター値」を含む打刻データのみが本体内のメモリーに保存されます。
任意フォーマット	文字、記号、制御文字を組み合わせて作る、ユーザー作成のフォーマットです。その他の定型フォーマットと同じように、フォーマットの選択肢として印字パターンの1行目、2行目に設定できます。
フォーマット	印字パターンの1行目と2行目に設定する、日時やコメント、カウンターなどからなる文字列です。基本機能ではあらかじめ登録された29種類の定型フォーマットと2種類の任意フォーマットから選択できます。
ヘッダー	打刻データを出力したファイルの先頭行にあり、改行で終わる文字列です。個別の打刻データはこれより下に記述されます。
本体設定	本製品で設定を行うことです。基本機能のみが設定可能です。

8. 仕様一覧

時計精度	月差±15秒以内
カレンダー	2000年～2099年 閏年、月の大小、曜日は自動判定
印字方式	ドットインパクト式
リボンカセット	黒 (TP-1051SB)
メモリー保持機能	工場出荷時より累計停電時間3年間
本体メモリー容量	1,022打刻もしくはそれ以下
インターフェイス	USB 2.0 ただしフルスピードのみ ※USBメモリー専用
使用環境	温度：-5～45℃ 湿度：20～80% R h 結露なきこと ✓温度が5℃以下の場合、正常に動作しますが、印字濃度、 液晶表示の反応は通常使用時に比べて劣ります。
外形寸法	幅156×高さ179×奥行き181 mm
質量	約1.9kg
消費電力	待機時0.8W 印字時38W

セイコーソリューションズ株式会社

<http://www.seiko-sol.co.jp/>

お問合せ電話番号：0120-132030

受付時間：9:00～12:00, 13:00～17:00

※土・日・祝祭日・当社休業日を除く

ALL RIGHTS RESERVED

©2017 SEIKO SOLUTIONS INC.

Q7306-61201